

トキ野生復帰にむけて (158)



首都圏トキ野生復帰セミナー開催!

11月30日(木)、群馬県邑楽郡板倉町の東洋大学板倉キャンパスで、市主催によるトキ野生復帰セミナーを開催しました。

当日は東洋大学の学生約400人が出席し、環境省佐渡自然保護官事務所の若松首席自然保護官からトキが野生絶滅した経緯やトキ野生復帰とそれによる地域活性化の取り組み、現在抱える課題、そして将来の展望について、映像を交えてお話いただき、野生復帰に向けての理解を深めていただきました。

次回は、3月10日(土)に、東京都日野市の多摩動物公園で開催予定です。



多くの学生が参加したセミナーの様子

トキの羽を人に渡すと法律違反となります

トキの羽を許可なく人に売ったりあげたりすることは種の保存法で禁止されています。トキの羽を拾った場合は、人に渡さず大事に保管してください。

☎産業観光部農業政策課 トキ保護係(トキ交流会館内) ☎24-6040



小木港改札付近に設置の巨大床面地図

皆さんは、床面地図を知っていますか?
両津港や赤泊港、小木港、そして南佐渡観光案内所の島内4カ所に設置されている巨大な地図のことです。床に設置してあるので、地図の上を歩きながら、佐渡の地形や海底地形を眺めることができます。この床面地図の特徴は、海底地形も楽しめる点です。佐渡の周りの海底地形をよく見ると、佐渡と似た海底の高まりがいくつもあることがわかります。

海底には佐渡がたくさん!?



ジオパーク、推進日記

81

佐渡は300万年以上も前から隆起を続け、海底から持ち上がり、1,000メートル以上の山を持つ島になりました。今後巨大な地震が発生した場合は、佐渡はさらに隆起し、海底の高まりも海上に顔を出すかもしれません。そして、さらに隆起が続けば、佐渡と男鹿半島がいつか陸続きになるかもしれません。

佐渡周辺で見られる海底地形と同様に、佐渡が今でも海の底にあったり、隆起量が少なく、山が低かった場合を想像してみましょう。佐渡が現在のように高い山を持つ島にならなければ、雪が降らず、雪解け水が流れない島になっていたかもしれません。

床面地図は、佐渡でおいしいお米が採れる理由や、海の幸が豊富である理由を知るきっかけになります。船の待ち時間や、お迎えの合間にどうぞ床面地図を探してご覧ください。

☎教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4160